

低コスト生産間伐システムの普及定着に向けた活動 — 間伐講習会の開催 —

去る11月17日、低コスト生産間伐システムの一層の普及定着に向け、関係機関・団体、素材生産事業者等を対象とする高性能林業機械導入による間伐講習会を岩手北部森林管理署等と連携し馬淵川上流流域森林・林業活性化センター主催として開催しました。

1 開催テーマ等

二戸市浄法寺地区の稲庭岳国有林で現在進められている列状間伐の施行地を会場に、現地で採用しているグラップル系作業システムである「チェーンソー先行伐採、ウインチ付きグラップル木寄集材、プロセッサ造材、フォワーダ運搬、巻立」の高性能機械導入部分の実演を踏まえ、効率的な作業システムや民・国連携による施業団地設定などをテーマに意見交換を行いました。

2 開催状況

岩手北部森林管理署から現地の列状間伐の計画概要等の説明、浄安森林組合の各オペレータによる高性能林業機械の実演、農林振興センターから低コスト施業システム(グラップル系、ハーベスタ系)や高性能林業機械導入のための助成制度等を紹介しました。

参加者からは、ウインチは何本引っ張れるか、プロセッサはどの程度の曲がりまで造材できるか、低コスト化のためには処理能力の高いプロセッサに合わせた作業システムが重要、チェーンソーによる先行伐採は降雪のある冬は制約される、木価低迷にあっては民・

国連携による団地化など互いの良いところを活かしながら森林整備を進める必要がある等の意見がありました。

3 今後の対応

同じ団地内でも作業路網の配置、林地の傾斜、土場設置位置により作業システムが変わるので、各高性能林業機械の性能を最大限に引き出せる組合せ等、トータルコストの低減に繋がる作業システムを具体的に理解・実践できるような講習会を今後も積み重ねていくこととしたい。



実演：ウインチ付きグラップルによる木寄集材



意見交換：低コスト作業システム等について